

【オプトアウトによる研究実施のお知らせ】

ACL 手術における再発リスク低減に関する後ろ向き観察研究について

札幌いしやま病院では、診療の質向上と医学の発展を目的として、日常診療で得られた診療情報を用いた臨床研究を行うことがあります。本研究は、通常の診療で得られる情報のみを使用し、新たな検査や受診などの負担を伴わない「後ろ向き観察研究」に該当するため、個別の同意をいただく前に実施しています。この場合、国が定める指針に基づき、研究内容を公表し、患者さんが拒否できる仕組み（オプトアウト）が必要となります。

■ 研究課題名

「ACL 手術における再発リスク低減への試み－後ろ向き観察研究」

■ 研究の目的

痔核に対する ACL 手術の治療成績を明らかにし、従来法である結紮切除術との比較を通して、再発リスクを低減するための要因を検討することを目的としています。

■ 研究の方法

- ・ 研究デザイン：後ろ向き観察研究
- ・ 対象患者：2008 年 1 月～2009 年 12 月の間に当院で痔核手術を受けた患者さん
- ・ 使用する情報（すべて通常診療で得られるもの）
 - 年齢、性別、診断名、既往歴
 - 肛門鏡検査、努責診察
 - 術前症状、手術内容
 - 術後合併症の有無、術後の臨床成績

■ 研究期間

対象期間：2008年1月～2009年12月

解析は倫理委員会の承認後、定められた期間内で実施します。

■ 利益と不利益

- ・不利益：診療情報は匿名化し個人が特定されないため、不利益はありません。
- ・利益：直接の利益はありませんが、将来的な痔核治療の改善に寄与する可能性があります。

■ 個人情報の保護

取得する情報は匿名化し、個人が識別されることはありません。

研究成果は学会・論文等で公表される場合がありますが、個人が特定されることはありません。

■ 研究責任者

札幌いしやま病院

肛門外科 石山 元太郎

■ 情報利用を拒否される場合

ご自身の診療情報が本研究に利用されることを希望されない場合は、下記までお申し出ください。申し出があった場合、その方の情報は研究に使用しません。

札幌いしやま病院 研究責任者 石山元太郎

〒064-0915 北海道札幌市中央区南15条西10丁目4-1

TEL 011-551-2241